



2022年 7月 25日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
 (コード番号 6619 東証プライム)
 問 合 せ 先 取 締 役 大 内 秀 雄
 (T E L 0 3 - 5 4 3 6 - 7 1 5 5)

業績予想の修正および営業外損益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日付で公表しました2022年12月期連結業績予想を下記の通り修正し、それに伴い、2022年12月期第2四半期において営業外損益(為替評価差益)を計上することとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年1月1日~2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	1,850	1,300	450	8.26
今回修正予想(B)	20,000	2,600	3,500	2,000	36.62
増減額(B-A)	3,000	750	2,200	1,550	
増減率(%)	17.6	40.5	169.2	344.4	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期第2四半期)	12,686	△107	△598	△412	△8.35

(2) 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	5,000	4,000	1,400	25.70
今回修正予想(B)	44,000	5,500	6,000	30,00	54.40
増減額(B-A)	6,000	500	2,000	1,600	
増減率(%)	15.7	10.0	50.0	114.2	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期通期)	29,966	1,898	△3,411	△2,943	△56.67

2. 修正の理由

2022年12月期上期においては、民生系用途及び車載系用途ともに主要顧客の需要が安定して伸びたことにより販売数量が期初計画を10%程度上回りました。また、上期中平均の対米ドル円レートが122.87円となり期初予算計画時の設定より約9%の円安となりました。これらのことから、売上が期初計画から3,000百万円増加し20,000百万円となる見通しとなりました。

営業利益においては、原材料費や光熱費の上昇傾向にある中で、継続して取り組んでおります生産性の改善が進み、販売数量は前年同期比約20%増加となり製造原価の低減を実現しております。これらの要因により期初計画から上期の営業利益は期初計画比約750百万円増加し2,600百万円となる見通しとなりました。

経常利益においては、米ドル建て債権債務で為替評価差益(営業外収益)1,000百万円を計上することなどにより、期初計画比で2,200百万円増加し3,500百万円の見通しとなりました。

2022年12月期下期の見通しにおいても、主要顧客からの需要は期初計画通り堅調に推移する見通しで、第3四半期以降順次新設のコーティングラインの稼働が始まることにより、需要の高まるコーティングセパレータの販売数量の増加を計画しております。また、為替レートにおいても米ドル高の基調が続くことを想定し、通期平均為替レートを見直すことにより、下期の売上高は24,000百万円を見込み、通期の累計額44,000百万円の売上高となる見通しです。

営業利益の見通しに関しても、引き続き生産改善を進めていくことにより、下期2,900百万円、通期で5,500百万円となる見込です。経常利益、当期純利益についてもこの修正を折り込んで修正しました。

第3四半期以降の想定為替レートにつきましては、1米ドル135円及び1米ドル1,200KRWとしています。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上